

# あの人と学校の

定形外  
便り



「まずは自分のことを」

文：川根高校魅力化コーディネーター  
(地域おこし協力隊)

伊神花織



伊神花織 (いがみ かおり)

愛知県出身。広告代理店の営業を経て、教育コーディネーターとして大阪・東京で小中学校のキャリア教育に従事。高校教育に関わりたいと思い、魅力化コーディネーターを志望して本町へ。本町にはバイクツーリングで訪れており、景色の美しさや町の方々の優しさに触れる機会が多くあり、以前から好きな場所でした！

川根高校を中心に、学校での取り組みを魅力化コーディネーターの立場から、地域の方などへのインタビューを交えて紹介します。※インタビューは次回から

## コーディネーターの役割とは



川根高校教諭との打合せの様子

川根高校の「魅力化」を進めることが、私の役割ですが、その「魅力化」とは誰にとつてのものであるか、が今まで曖昧でした。それを、生徒やこれから川根高校に入学してくる子どもたちにとって、魅力になりうるものがぶれない様にしていくことが、今一番重要な役割だと考えています。今年度から学校内にも「魅力化推進室」という担当の先生方を設けていただいたので、三名の先生方と一緒にぶれない軸を作っていきます。

## 具体的な活動予定

今は、新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた活動ができないため、校外へ出向いたり、外部講師を招いたりができない中でも、面白い活動ができるよう準備をしています。

その一つが二年生の南麓の授業（総合的な探究の時間）です。当初はエコパークツアーに参加し、川根の観光ガイドを考える予定でしたが、発想を逆転させて「学校のことを川根の方に伝える」という着想で、生徒たちが川根高校のおすすめスポットや裏話を盛り込んだ校内マップを作成する取り組みを行うことになりました。自身が過去に携わった演劇ワークショップの手法を使った校内オリエンテーリングを企画しています。



制作中の体験マップ

## 最終的な目標について

直接的・短期的な町のメリットになる川根高校の魅力を考えなければならぬと思いますが、正直にお話すれば今は念頭に置いていません。

それは、地域の方々と触れ合う中で、町としての数字的成果よりも、生徒との小さな交わりでの思い出を大切にされている人々がいることを知ったからです。ですので、小さな交わりを増やしたいと考えています。

最終目標は、様々な町の事情を度外視して、それでもこの町に居る・来る子どもたちを、ただ暖かく全力で受け入れてくれる場所と人をつくることです。そのような場所と人ができたとき、そこは生徒にとってだけでなく、関わるすべての人にとって魅力的な町になっているのではないのでしょうか。

川根高校の  
フェイスブックページ



伊神さんが6月から更新する川根高校のフェイスブックです。学校の様子をご覧ください。

